

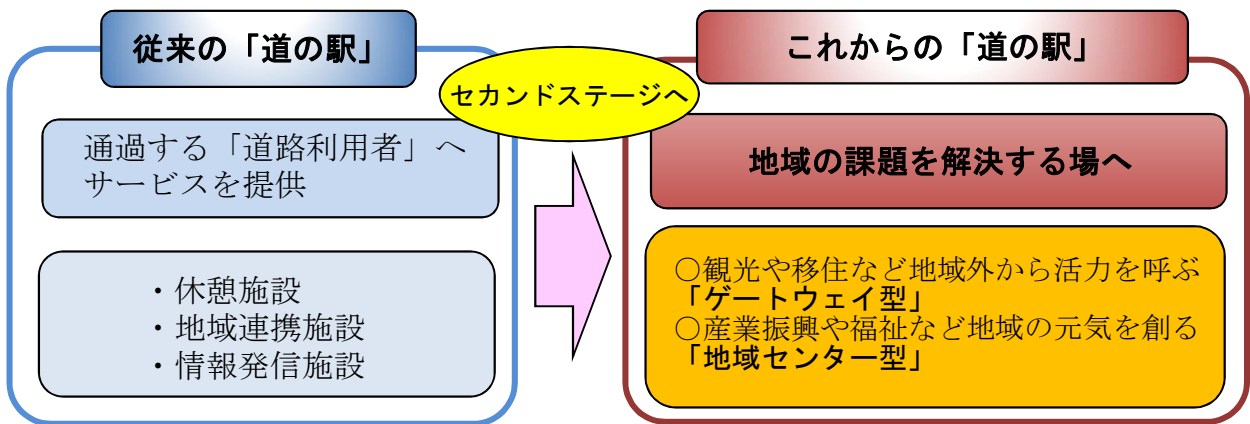
# 19 「道の駅」サテライト制度の創設について

主管省庁（内閣官房，内閣府，国土交通省道路局）

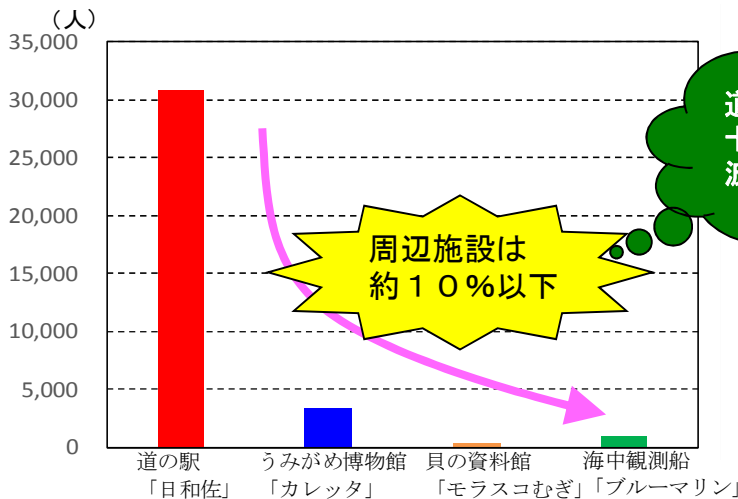
## 【現状と課題】

### 直面する課題

- 「道の駅」は，通過する道路利用者への「サービス提供の場」から「地域の課題を解決する場」として成長しながら，全国で整備が進められてきた。  
（平成26年10月現在：登録数1040駅）
- 「道の駅」と地域資源となっている周辺施設がネットワーク化されておらず，「道の駅」の持つ集客力やブランド力が周辺施設にまで十分に波及できていない。



### 道の駅と周辺施設の入込客状況（H26ゴールデンウィーク）



## 【政権与党の政策方針】

### 《平成27年度概算要求の状況》

- ◇ 「道の駅」による拠点の形成
  - ・ 地域外から活力を呼び，雇用を創出し，地域の好循環を生む「道の駅」について，地方創生の拠点として選定し，関係機関が連携して重点的に支援

### 《自由民主党 J-ファイル2013》（P12, No.44）

- ◇ 観光産業の再建・強化
  - ・ 景観に配慮したまちづくり，案内表示の整備等情報提供の充実などによる魅力ある観光地の整備と観光産業の育成により，観光を通じた地域活性化を推進

県担当課名 南部総合県民局，道路政策課，観光政策課  
関係法令等 道路法

## 【課題解決への方向性と処方箋】

### 方向性（処方箋）

- 「地方創生の拠点」として、「道の駅」自体の機能強化はもとより、**地域資源のパッケージ化や周辺施設とのネットワーク構築**により、更なる**地域活性化**への相乗効果を創出するべきである。
- 地方創生の拠点となる「道の駅」の周辺施設に、新たに**サテライト（「道の駅サテライトステーション」）**機能を付与することにより、**双方向で一体的な施策展開**を図り、「**地域の魅力**」を発信する機会を創出するべきである。

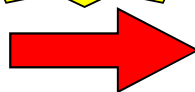
道の駅「日和佐」を拠点とした「道の駅サテライトステーション」のイメージ

#### 対策

・ネームバリューのある**道の駅の周辺施設をサテライト化**し、集客力及びブランド力を地域の隅々まで波及させる

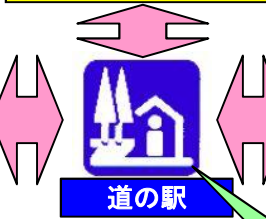


周辺施設と相互連携



#### 効果

- ・観光客の増加
- ・地域産業の活性化
- ・地域の魅力向上



#### 「サテライトステーション」の機能強化・連携

##### 【ハード】

- ・自転車ラック・休憩所の整備、LED電灯
- ・展望台へのスロープ（ユニバーサルデザイン化）
- ・駐車場舗装、地域特産品売店の整備

##### 【ソフト】

- ・サテライトステーション周遊スタンプラリー
- ・アウトドアフィールドを活かしたイベント開催



今後の政府予算編成に向けて

## 【徳島発の政策提言】

### 具体的内容

#### 提言 「道の駅サテライトステーション」認定制度の創設

- ・拠点となる道の駅と周辺施設をネットワーク化し、地域資源の有効活用により地方創生が図られるよう、「道の駅サテライトステーションの認定制度」を創設するとともに、「道の駅」と同様に**交付金等の対象**して支援すること。

### 将来像

「道の駅」を拠点とした「地方創生」の実現！！

## 20 外国人観光客の「観光圏」をはじめとする地方への誘導について

主管省庁（内閣官房，内閣府，国土交通省観光庁）

### 【現状と課題】

#### 直面する課題

- 「訪日外国人旅行者数」は2013年に初めて1,000万人を超え，政府においては，**2020年までに2千万人の高みを目指す**としている。
- 現状は，東京周辺やゴールデンルート（東京～箱根・富士～京都～大阪）などに訪日外国人の需要が集中しており，目標達成には**地方への外国人観光客の誘導**が不可欠である。  
そのためには，平均6～7日という外国人旅行者の滞在日数に見合った，訪日を強く動機づける**新たな「広域観光周遊ルート」の形成**が求められている。
- 一方，徳島県西部の「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」は平成25年4月，全国6箇所の中の1つ，中四国では唯一，観光圏整備法に基づく観光圏に認定され（現在は10地域に拡大），**「世界に通用する，国際競争力の高い魅力ある観光地域づくり」**を進めており，当観光圏の外国人宿泊客数は大きく伸びてきている。
- 観光圏はじめ地方でも，海外の旅行会社へ現地訪問するなどの誘客活動を行っているが，より成果を上げるためには，**現地での機敏で強力な情報発信や商談の場の設定**，商品化に向けたフォロー，訪問活動時の道案内など，**きめ細かな支援**が求められる。

H26.9.29所信表明演説で安倍総理大臣が言及  
東洋文化研究者アレックス・カー氏は，  
「祖谷」を「桃源郷のような別世界」と表現  
“A world like a Shangri-la”



<にし阿波の外国人宿泊客数>



### 【政権与党の政策方針】

#### 《平成27年度概算要求の状況》

- ◇ 広域観光周遊ルート形成促進事業
  - ・ 複数の都道府県に跨がり，テーマ性・ストーリー性を持った観光地をネットワーク化して，広域観光周遊ルートの形成を促進し，海外へ積極的に発信1,400百万円

◇ 日本政府観光局（JNTO）運営費交付金 12,525百万円

#### 《「日本再興戦略」改訂2014》（P116～）

- ◇ 世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現
  - ・ 観光資源のポテンシャルを活かし，世界の多くの人々を地域に呼び込む社会

#### 《自由民主党 J-ファイル2013》（P12, No.44）

- ◇ 観光産業の再建・強化

#### 《公明党 マニフェスト2013》（P13, 2-1④）

- ◇ 文化・観光振興，地域活性化に資する成長戦略

県担当課名 西部総合県民局企画振興部，国際戦略課  
関係法令等 観光立国推進基本法，  
観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律

## 【課題解決への方向性と処方箋】

### 方向性（処方箋）

- ゴールデンルート以外の地方に外国人客を誘導するため、特定のテーマをもって国内外に訴求する際立った魅力を持つ「観光圏」をはじめ、先導的な取り組みを行っている地域を組み込んだ、広域観光周遊ルートの形成、推進を支援すべきである。
- 新たに形成する広域観光周遊ルートについて、JNTO本部及び海外事務所などが、現地旅行会社による訪日旅行商品の企画・販売の促進、セミナーの開催などにより「観光圏」等が行う海外へのプロモーション活動を支援すべきである。

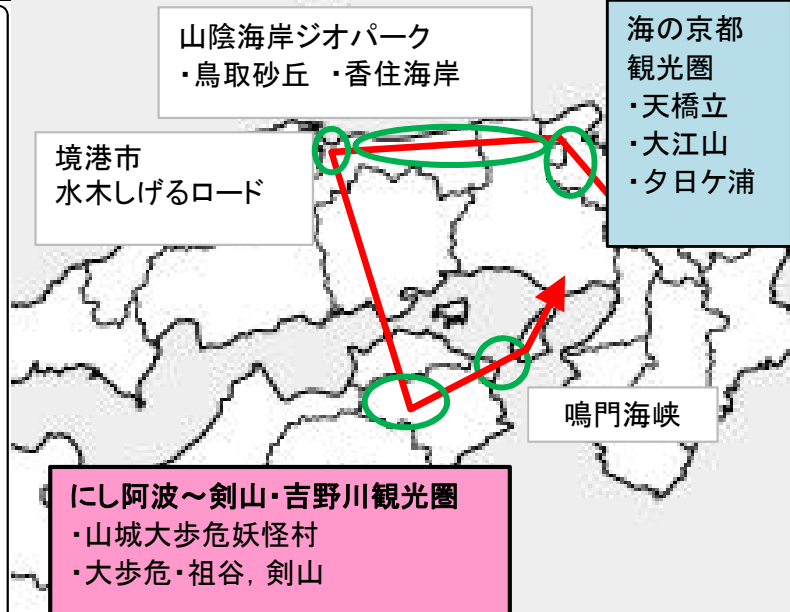
#### <想定される広域ルート> 「京都～兵庫～鳥取～徳島」ルート案

##### ○テーマ

- ①「妖怪伝説を巡る」  
境港市の水木しげるロード  
山城大歩危妖怪村
- ②「地質遺産を巡る」  
天橋立、大江山、夕日ヶ浦  
鳥取砂丘、香住海岸  
大歩危・祖谷、剣山、鳴門海峡

##### ○関係する観光圏

- 「海の京都観光圏」
- 「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」



今後の政府予算編成に向けて

## 【徳島発の政策提言】

### 具体的内容

#### 提言① 外国人客を地方に誘導する、「観光圏」等を中心とした広域観光周遊ルートの形成及び推進の支援

- ・ 広域観光周遊ルートの形成及び推進に当たっては、国が認定した「観光圏」をはじめ、先導的な取り組みを行っている地域を優先して支援すること。

#### 提言② 新たに形成する広域観光周遊ルートの海外プロモーション活動への強力な支援

- ・ 新たに形成する広域観光周遊ルートについて、「観光圏」等が行う海外へのプロモーション活動を、JNTO本部及び海外事務所などが強力に支援すること。

### 将来像

ゴールデンルート以外の地方への外国人観光客の飛躍的増加による地方活性化